最新情報は[ホームページ]にて
ご確認ください

IEが奏でる 未来響創®

日本IE協会年次大会 2026

多様な力が織りなす、新たな価値づくり

1日目

全体会議・事例発表会

11月12日[木] 10:15-17:00

[会　場]

タワーホール船堀（東京都江戸川区）

※オンライン同時配信

※大会終了後、アーカイブ配信あり
（許可をいただいた講師のみ）

2日目

現場見学会（15コース）

11月13日[金]～18日[水]

[会　場／時間]

※　受入先企業の指定時間、場所

（2026年10月21日版）

IEが奏でる未来響創®

多様な力が織りなす、新たな価値づくり

日本IE協会は、変化のたびに現場と向き合い、価値創造の在り方を更新し続けてきました。

社会や産業の変化が加速するいま、価値は特定の領域にとどまらず、人・技術・組織文化・データといった多様な力が交わるところから、新たな成果や価値として生まれています。IEが積み重ねてきた成果は、一人ひとりの挑戦と、互いに支え合い紡いできた歴史により形づくられてきました。その歩みはより広い価値創造につながる未来に向けて発展し続けています。

2026年次大会のサブテーマ　「多様な力が織りなす、新たな価値づくり」
には、異なる視点や強みが重なり合い、新しい価値が立ち上がっていく『響創』の姿を込めています。
「織りなす」という言葉が示すように、多様性そのものが新たな可能性を生む原動力です。

こうした多様な力を結び、新たな価値へと導く共通言語として、IEの考え方や手法の重要性は一層高まっています。本大会が、参加者それぞれの視点と実践が響き合い、新たな価値をともに編み出す場となることを願っています。

大会組織

2026年 7月現在

大会会長	新野 隆	日本電気㈱ 取締役 会長
大会副会長	藤塚 真也	㈱東芝 常務執行役員
	井口 栄二	日産自動車㈱ パワートレイン・EVコンポーネント生産技術開発本部 執行職
	井手 伸一郎	日本電気㈱ Corporate SVP 兼 CBXO
	久米 正	㈱日立製作所 執行役常務
	山﨑 憲二	㈱ブリヂストン 常務役員
大会委員	石井 秀昭	アズビル㈱ 執行役常務
	一方井 孝治	鹿島建設㈱ 常務執行役員 エンジニアリング事業本部長
	吉野 智昭	ジヤトコ㈱ 専務執行役員
	辻 浩介	㈱東芝 プロセス改革統括部 生産推進室 ゼネラルマネジャー
	高垣 圭一郎	東芝テック㈱ 全社生産統括責任者
	真島 宏徳	TOPPANホールディングス㈱ 常務執行役員 製造統括本部長
	前岡 輝繁	日産工機㈱ 代表取締役社長 最高経営責任者
	浦上 一夫	日産車体㈱ 専務執行役員
	伊藤 健	日本製鉄㈱ 常務執行役員
	斉藤 篤	日本電気㈱ ビジネスプロセストランスフォーメーション部門 上席プロフェッショナル
	村松 善徳	㈱日立製作所 モノづくり戦略本部 生産技術強化推進部 部長
	近藤 雅彦	日野自動車㈱ 古河工場 モジュール製造部 部長
	長尾 敏晴	富士フイルムビジネスイノベーション㈱ モノ作り本部長
	根岸 博一	㈱ブリヂストン 改善技術部門 部門長
	白方 健	マレリ㈱ 常務執行役員
	三木 康治	三木プーリ㈱ 代表取締役社長
	志自岐 雄介	三菱電機㈱ 上席執行役員 ものづくり技術本部長
	山本 隆司	UDトラックス㈱ 生産企画バイスプレジデント
大会実行委員長	浦田 敦夫	日本電気㈱ サプライチェーンプラットフォーム統括部 ものづくり戦略グループ シニアマネージャー

11/12[木] 全体会議 10:15-12:40

会 場	大ホール(5階)

10:15 ー 10:20

開会挨拶

日本インダストリアル・エンジニアリング協会 会長
日本電気(株) 取締役 会長
新野 隆

10:20 ー 11:10

特別講演1

「日本のモノづくりを再設計する」
ー Japan as No.1のその先へー

東京大学大学院 経済学研究科 准教授
大木 清弘氏

かつて世界を席巻した日本のモノづくり産業には、悲観的な見方も広がっています。しかし一方で、日本のモノづくりは今なお一定の競争力を持ち、経済安全保障の観点からも重要性を増しています。衰退か再生か――日本のモノづくり産業は、いま重要な岐路に立たされています。

本講演では、まず日本の製造業の現在地を確認し、戦後の強さを支えてきた現場力、人材育成、サプライヤーとの関係、戦略を振り返ります。そのうえで、なぜその強みが弱まってきたのかを考え、これから残すべきものと変えるべきものについて議論します。 「Japan as No.1」を過去の栄光で終わらせず、日本のモノづくりの現実的な未来を展望し、これからのモノづくりについて考えるきっかけとなるよう、お話しいただきます。

11:25 ー 12:40

特別講演2
※アーカイブ配信はありません

「作り方を作る」

東京藝術大学 名誉教授
表現研究者／クリエイティブディレクター
佐藤 雅彦氏

私たちは日々、製品やサービスを作り、そのための仕組みづくりや体制づくりにも取り組んでいます。
本講演では、「作り方を作る」という視点から、新しい価値を生み出す発想や思考法について考えます。
「どうしたら、それが伝わるか」というテーマに、テレビ番組、CM、ゲーム、教育など、分野を横断した数々の表現活動を研究・展開してきた佐藤雅彦氏。独自の表現活動を通じて培われた発想や思考のプロセスについて、お話しいただきます。

主 催:日本インダストリアル・エンジニアリング協会

協 賛:足利商工会議所／(一社)インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ／㈱日刊工業新聞社／(一財)日本科学技術連盟／(公社)日本技術士会／(公社)日本経営工学会／(公社)日本バリュー・エンジニアリング協会／(公社)日本プラントメンテナンス協会／(公社)日本包装技術協会／(一社)日本マテリアルフロー研究センター／(公社)日本ロジスティクスシステム協会／ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会／(公財)日本生産性本部／神奈川県生産性本部／(一社)埼玉県生産性本部／千葉県生産性本部／経営品質協議会／サービス産業生産性協議会

11/12[木] 事例発表会 13:30-17:00

会 場	イベントホール(2階)	瑞雲	平安

AI×DXで描く未来工場 デジタル技術の活用

13:30 | 14:30

勘や経験に頼らない「設計AI」によるモノづくり変革への挑戦

- モノづくりの現場における課題
  人手不足や設計課題などから今後についてご提案
- 設計AIによる設計の自動化と高度化
  シェーバ向けリニアモータなど適用事例をご紹介
- 設計AIの普及に向けて解決すべきこと
  経済的、技術的、社会的な3つの壁について議論

パナソニック ホールディングス(株)
プロダクト解析センター
デバイス・空間ソリューション部 部長
太田 智浩 氏

現場サイエンティストによる業務プロセス革新
～過去の後始末から未来創造へ時間シフト～

- 現場経験と直感で因果を推測し、デジタルで仮説検証・形式知化できる人材「現場サイエンティスト」を育成
- 過去のトラブル対応時間を削減し、人材育成や良品条件探索など未来志向の業務へ転換
- “人”の価値を中心にした取り組みを紹介し、当日は現場サイエンティスト本人の活動報告も実施

ヤマハ発動機(株)
執行役員 生産技術 本部長
茨木 康充 氏

新たな貢献の場を探る 拡がるIE

14:45 | 15:45

課題の見える化による壁の解消
～ 連携の壁に着目して～

- QCサークル「Team Progress」のマネジメント
  - 価値観の違いから生まれる壁、形骸化しない訳
  - 具体的な活動内容
    :どのような課題を掲げ、成果が出たか、苦労した点
- 課題の共有＝「共にみるもの」で、壁を乗り越える
  - 課題共有から生まれる、仲間に対する理解と信頼
  - 組織の成長に、QCサークルがどのように貢献するか
  - 新たに見えた課題、現在のTeam Progress

医療法人王子総合病院 医療技術部
リハビリテーション科 科長代理
會津 圭崇 氏

新規事業創出から次世代リーダー育成へ
～ANAが歩む「全員参加の価値創造」への軌跡～

社内新規事業提案制度「がっつり広場」を通じた
「小さな成功体験」の創出と「伴走型」支援

- 人事部が牽引する「新規事業」と「変革」とは(背景と変遷)
- 挑戦のハードルを下げる社員提案制度「がっつり広場」の仕組
- 「伴走」の真髄:物理的にも心理的にも孤立をふせぐ
- 「人の強みが活きた多様な価値創造の具体的成果の実例紹介
- 組織全体への波及:「変革リーダー」の育成

全日本空輸(株)
人事部 人財大学 変革塾リーダー
中浦 聡美 氏

持続可能で競争力のある現場創り 人財力×現場力

16:00 | 17:00

伝統的な桐箱の持続可能なものづくり
～ ニッチな桐箱が狙う世界と戦うカギは
地域の力の結集とデジタルのハイブリッドで！ ～

- 桐以外の素材と家業の技術の融合で
  「桐箱で日本一」から「木で四角いもの 日本一へ」
  「待ち工場」から仕事を狙う「町工場」へ
- 職人の技、日本の文化、伝統工芸からニッチ市場
  「世界で一番環境にいい木材」で世界へ挑む
- 桐箱を作る上で材料としての地域貢献、
  加工をする上で多様な人材とものづくり、
  そして地域から必要とされるもの作りにデジタル
  を加え、域内のものづくりの活性化に尽力

(株)増田桐箱店 代表取締役
藤井 博文 氏

歴史ある工場を未来に繋ぐ！ 三層構造の改善活動
～ 5Sで活動の土台をつくり、小集団活動で自職場を改善、
CFTで重点課題を解決 ～

- 5S×IEによる改善リーダー育成:各職場からリーダー候補であり、改善意識の高い中堅社員を選出し、2年間で教育と実践を通じて改善リーダーを育成
- 技能職場のデジタル化によるモノづくり革新:事業所内で推進している取り組み事例の紹介
- グローバル連携によるモノづくり力強化事例:海外現地法人への技術支援、人財育成を継続的に実施。結果、弊社に続き、ベトナム現地法人も一般社団法人から顕彰を受賞。

東芝産業機器システム(株)
生産製造技術センター シニアマネジャー
下津 久明 氏

情報システム／モノづくりツール企業紹介

生産革新、経営革新に役立つ「情報システム／モノづくりツール」として、大会当日の休憩時間に会場スクリーンにて紹介スライドを投影予定です。会場のロビーで展示もございますので、ぜひお立ち寄りください。

大手自動車メーカー導入の製造業特化型
作業分析AI「Ollo Factory」
https://ollo.jp/ollo-factory

11/12[木] 事例発表会 13:30-17:00

	福寿	桃源		
13:30 ｜ 14:30	**未来工場は“無人化”の前に何をすべきか？** ～ IE×データ×AIで進める、人と設備の段階的DX ～ ● 無人化工場を理想像に置きつつ、多品種・人作業が残る現場の実態を踏まえた、設備・人・工程を段階的につなぐAI活用の道筋 ● 設備データだけでなく作業者の動き・習熟・判断を自動取得し、入力負荷を増やさず継続的に蓄積できる仕組み ● IE手法によるデータ分析やムダ取りとAI活用による更なる改善サイクル高速化と安全・セキュリティの両立 三菱電機(株) 名古屋製作所 生産システム推進部 部長 **上大田 孝 氏**	**楽しむ挑戦がモノづくり現場の文化になる 人が主役のデジタル化 その現在地** ● 「モノづくり現場らしいデジタル活用の姿」を模索。「現場のリアルを知っている自分たちだからこそ自分たちに適したデジタル文化を作れる」が信念 ● 現場に根付くデジタル活用の鍵は、仲間への寄り添い、心理的安全性、学びの機会、そして、楽しく挑戦できる空気の醸成 ● 事例を通して紹介するのは、デジタルツール導入の話ではなく、取り組むメンバーのマインドと関係する人たちの行動の軌跡 トヨタ自動車(株) 田原工場 エンジン・BEV製造部 グループ長 **吉田 保正 氏**	AI×DXで描く未来工場 デジタル技術の活用
14:45 ｜ 15:45	**現場起点のAI活用** ～エデュケーションからエデュテインメントへ～ ● 未来ビジョン「一人ひとりの笑顔が咲く 未来のくらしを創造する」を実現するため、「笑顔」を咲かせる活動を通じたAI活用の背景と課題について ● 小売業世界初の取り組み(「スマイルくん」、「VR-OJT」)を通じた、現場の「やらされ感」から「やりたい感」への転換と、お客さま満足度向上への効果について ● AIと人材育成の現在地として、人材に関する意思決定の質を飛躍的に向上させるAIの活用事例のご紹介、AIの特性を生かした人材の発掘スキームについて イオン(株) 人材育成部 部長 **吉田 元 氏**	**時々刻々変化する需要変動に対応する 物流センターの構築** ～自動化設備と人の融合による持続可能な物流サービスの提供～ ● RCS(Resource Control System)導入によるDX推進 RCSの導入により自動化・人員最適化・シミュレーションなど多面的な業務高度化を実現。 ● 作業効率と生産性の向上 オリコン自動倉庫(GTP)や作業員配置最適化による全体スループット向上。 ● さらなる自動化・AI活用の拡大 システム連携強化、需要予測との連動やマテハン制御の高度化 ロジスティード(株) ロジスティクスソリューション統括本部 ロジスティクステクノロジー部 部長補佐 **松尾 章広 氏**	新たな貢献の場を探る 拡がるIE
16:00 ｜ 17:00	**人と現場が紡ぐ課題解決と価値創造** ～気付き・考え・行動する人づくりが未来を創る～ ● 現地現物を基本に、「気付き・考え・行動する」実践を通じて、変化に対応できる課題解決力を備えた人財を育成する。 ● 2004年から継続するNEPS自主研の実践を通じて、IEの原理原則を継承しながらDX・AIを融合し、ものづくり革新を進化させる。 ● 現場で培った課題解決の知見を社内外へ展開し、お客様や社会の発展に貢献する価値創造へつなげる。 日本電気(株) サプライチェーンプラットフォーム統括部 シニアプロフェッショナル **山崎 誠 氏**	**試行錯誤から見えたDXの本質** ～現場とIT技術をつなぐブリッジエンジニアの活躍～ ● 現場の課題を深く理解した人材がデジタル技術を学び、ブリッジエンジニアとして大切にしてきたもの ● 現場にある課題起点でシステム設計を行い、現場のユーザーに寄り添ったシステム開発による成果 ● 現場の課題に対しデジタル技術で「本当の解決策」のアイデアを出し、全社で取り組んできたDX事例の紹介 (株)樋口製作所 常務執行役員 **石田 清孝 氏**	持続可能で競争力のある現場創り 人財力×現場力

作業分析・改善標準ツール
OTRS®
・動画による作業分析
・ムダ取り
・標準作業の策定
・動画マニュアルの出力
すべてオールインワン。
活用事例資料を無料進呈⇒

JIET
Time Prism
株式会社日本生工技研
作業改善・動画マニュアルなら
おまかせ！
https://www.jiet.co.jp/

11/13[金] ~11/18(水) 現場見学会

A: NECプラットフォームズ(株) 甲府事業所

■日 時:11月17日(火) 13:00~17:00
■場 所:山梨県 甲府市
■主な製品:コンピュータ関連機器

「変化に強いものづくり工場実現に向けた製造DXの取り組み」

お客様の多様かつ個別のご要望にお応えする混流化生産方式・生産ラインにより製品提供しております。
生産デジタル技術の導入・拡大を進めながら生産現場を改革させ「変化に強いものづくり工場」を目指しています。

B: 日産工機(株)

■日 時:11月16日(月) 13:00~17:00
■場 所:神奈川県 高座郡
■主な製品:エンジンユニット/部品、車軸ユニット/部品

「変化に対応し続けるモノづくり力」

当社の製品は世界で販売される日産車に搭載、50のラインで185種類の製品を生産しています。要求量の変化に応じて多品種を混流するためのフレキシブルな工程設計や、変化に対応しながら高い加工精度を維持するためのCBMやTPMの取り組みを紹介します

C: 日立ヴァンタラ(株) 神奈川事業所

■日 時:11月13日(金) 13:00~17:00
■場 所:神奈川県秦野市
■主な製品:サーバーやストレージなどITプラットフォーム製品

「現場データを利活用した生産性向上活動と
脱炭素化活動などの製造DX・GXの取り組み」

多彩な環境活動を推進するモノづくり拠点。少品種大量生産工場での「生産改善」「コスト低減」「省人力化」に向けたデータ利活用を多角的に推進し、実践的な製造DXが改善活動で大きな実績をあげています。

D: 東芝ディーエムエス(株)

■日 時:11月13日(金) 11:30~17:00
■場 所:東京都 府中市
■主な製品:電子部品調達, プリント配線板設計・製造

「ワンストップで『うみだす・つくる・まもる』を提供」

当社は、社会インフラ産業に不可欠なプリント板や実装基板の開発・製造・保守をワンストップサービスで提供しています。現場ではRFIDシステムを活用した緻密な管理と効率化、また技術・技能の強化と継承においては、計画的な人財育成を図っています。

E: ブリヂストンフローテック(株) 埼玉工場

■日 時:11月13日(金) 13:10~16:30
■場所:埼玉県加須市
■主な製品:圧力伝達システム用部品

「多種多様な要求品質に対するJIT納入の実現」

ブリヂストンフローテックは油空圧用ホースや継手のアセンブリと部材である金具の加工を専門に行っています。
金具加工の自動化やアセンブリの多品種小ロット・複雑な仕様や短納期受注に対応するDX活用した生産システムを紹介します

F: 富士フイルム ビジネスイノベーション㈱ 海老名事業所

■日 時:11月18日(水) 12:30-16:30
■場 所:神奈川県 海老名市
■主な製品:大型プリンター(プロダクションプリンター)

「「IE」x「DX」わたしたちの考えるスマートファクトリー」

TPSの考え方を基本にIE手法を取り込んで、長年にわたり複合機/プリンターの生産革新活動を継続してきました。海老名事業所ではこれにDX技術を融合して 多品種少量の大型プリンター生産ラインにおけるスマートファクトリーへの取組みを開始しました。

G: トラスコ中山(株) プラネット埼玉

■日 時:11月18日(水) 13:00~17:00
■場 所:埼玉県 幸手市
■主な製品:工場副資材を中心とした物流センター

「日本のモノづくりを支えるプラットフォーマーを目指して」

トラスコ中山最大の物流センター「プラネット埼玉」では、高密度収納と高効率出荷を実現するために、多彩かつ最先端の物流機器を駆使しており、まさに「ロジスティクスワンダーランド」。
その取り組みを紹介します

H: 日野自動車(株) 古河工場

■日 時:11月13日(金) 12:30~16:30
■場 所:茨城県 古河市
■主な事業内容:大型トラック(燃料電池車を含む)、中型トラック

「日野自動車のモノづくり技術を発信するマザー工場」

古河工場はグローバルに展開する日野のものづくりと技術開発のマザー工場であり、QDR(高品質・耐久性・信頼性)を基本として商用車(大型トラック・中型トラック)の短納期・柔軟生産を実現した革新的ラインをご覧いただきます。

11/13[金] ~11/18(水) 現場見学会

最新情報はホームページにてご確認ください

I: パナソニックオートモーティブシステムズ(株) 松本拠点

■日 時:11月13日(金) 13:00~17:00
■場 所:長野県 松本市
■主な製品:車載コックピットシステム、および、関連デバイス

「需要変動に強いモノづくりの実現」
自動車業界が大きな変革期にある中で、超多品種・少量生産へ向けた対応力・競争力向上を工場の価値と考え改善活動を展開。 設計・商品開発部門と連携した部品種類削減活動や生産計画に関する間接業務の改善により、大きなリードタイム短縮を実現しています。

J: 三菱電機(株) 静岡製作所

■日 時:11月13日(金) 13:00~17:00
■場 所:静岡県 静岡市
■主な製品:冷蔵庫、空調および産業用圧縮機

「お客様のニーズに即応する生産体制の構築」
三菱電機 静岡製作所は世界空調冷熱商品を供給する海外8ヵ所のマザー工場です。私たちはお客様に満足いただける品質力と瞬発力を兼ね備えた販売連動型生産を追求しており、総合リードタイム改善やロス抑制を継続的に製販で改善する仕組みをご紹介いたします。

K: 鹿島建設(株) 三会堂ビル建設現場

■日 時:11月17日(火) 13:00~17:00
■場 所:東京都 港区
■見学拠点:ビル建設現場

「都市部ビル建替え工事における生産性向上の取り組み」
当工事は安全作業のもと、次のキーワードに取り組んでいます。①既存建物地下の一部を残置して、基礎または山留め壁として利用 ②旧建物の外観イメージを継承しつつ、新しい技術を使ったユニット化施工 ③道路拡幅工事を伴うタイトな工程を周辺環境に配慮しながら計画

L: アズビル(株) 湘南工場

■日 時:11月13日(金) 13:00~16:30
■場 所:神奈川県 高座郡
■主な製品:フィールド機器、センサ、コンポーネント製品、システム製品

「カスタマイズ生産、多品種少量生産の生産拠点」
湘南工場は1973年に操業を開始し、2019年には新生産棟を設立。一品一様の仕様に対応するカスタマイズ生産から、多様な顧客ニーズに応える多品種少量生産まで幅広く担う、生産の中核拠点であり、azbilグループのマザー工場として位置づけられています。

M: マックス(株) 玉村工場

■日 時:11月13日(金) 13:00~17:00
■場 所:群馬県 佐波郡
■主な製品:各種充電工具、ガスネイラ、鉄筋結束機

「変種変量生産と部品内製も実現した"フレキシブル生産工場」
玉村工場は自社開発設備を中心に構成され、省人化・無人化で高い生産性とクリーンな作業環境を保ちつつ、主要精密部品は最新鋭加工機を駆使し効率的な稼動で生産されています。市場の多岐にわたるニーズへのフレキシブルな対応を実現した現場をご覧いただきます。

N: SUS(株) 静岡事業所

■日 時:11月13日(金) 13:00~17:00
■場 所:静岡県 菊川市
■主な製品:アルミフレーム・パーツ

「アルミがつくるサステナブル社会の実現を推進する」
アルミの可能性を追求し、新たな価値を創造するアルミフレームメーカーです。静岡事業所は設計・開発・製造・営業を担う中核拠点、第2事業所はダイカスト・鍛造製品の生産拠点であり、自動化や改善活動を広く発信する「見せる工場」でもあります。

O: (株)しまむら 東松山商品センター・ECセンター

■日 時:11月17日(火) 13:00~15:00
■場 所:埼玉県 東松山市
■取扱商品:アパレル・生活関連商品

「機械化・自動化された高速物流システム」
東松山商品センターは国内に10か所ある自社運営の物流拠点として最大規模を誇ります。 ここでは、大量の荷物を短時間で配送するために、仕分けから搬送まで全て機械が行っています。1箱あたり手紙1通程度の低コストで配送できている、高速の物流システムをご覧ください。 ※各社2名まで

最新情報はHPをご覧ください

- 各コースは定員があり、先着順です
- 同業、コンサルタントの方はお断りする場合があります
- 訪問先、プログラム、開催時間など、変更になる場合があります。

NEXT EVENT 2027
第68回
全国IE年次大会

2027年7月12日(月)、13日(火)
大会 パシフィコ横浜
7月14日(水) ~
現場見学会 各見学先にて

JIE 日本インダストリアル・エンジニアリング協会
THE JAPAN INSTITUTE OF INDUSTRIAL ENGINEERING

申込要領・参加費／会場案内

お申込み
- ホームページからお申込みください。　https://www.j-ie.com　日本IE協会　検索

正式受付について
- 11/12分はお申込み時点で正式受付となります。(申込責任者へ受付完了連絡が自動送信されます)
- 現場見学会は、訪問先への確認および人数調整後、正式受付となります。
  (同業種の方はお断りする場合があります)
- 各コースとも定員になり次第締め切らせていただきます。
  (コースあたりの人数調整をお願いする場合があります)

参加証について
- 11/12分の参加証は、10月下旬から順次、参加者へEメールでお送り致します。
- 現場見学会の参加証は確定後、別メールにてお送り致します。
  ※参加証が届かない場合は【連絡先Eメール】jiie@j-ie.comまでご連絡ください。
  ※ @j-ie.com、@jpc-net.jp、@deliveru.jp ドメインからのメールを受信できるように設定ください。

請求書について
- 請求書は、10月下旬から順次、申込責任者へ郵送いたします。(現場見学会を含む場合、確定後となります)

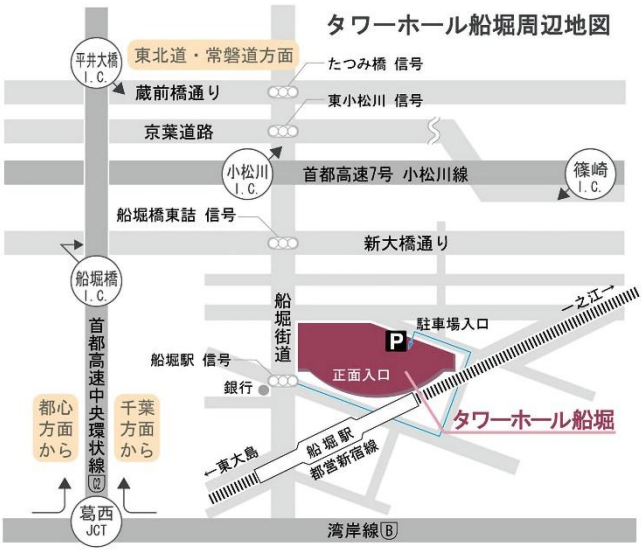
早期申込割引について
- 参加者が確定していない場合は、参加人数をご連絡いただければ、適用いたします。

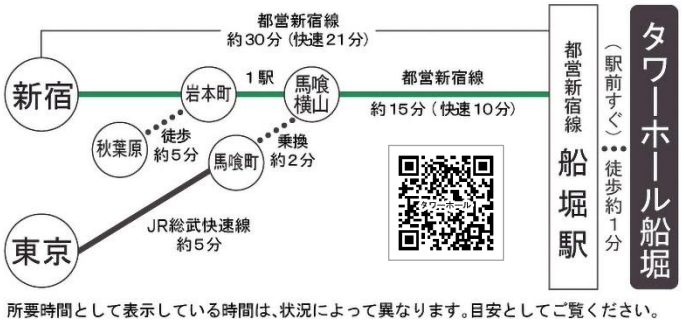
参加費／1名分(税込) 来場参加・オンライン参加とも同額となります。		法人会員・個人会員 協賛・後援団体	一　般
11月12日参加	通常価格	28,050円	39,270円
	早期申込割引価格(10月10日まで)	25,850円	36,190円
11月12日＋現場見学会	通常価格	40,150円	56,210円
	早期申込割引価格(10月10日まで)	37,950円	53,130円

【注記】
- 参加費には、消費税、資料代(デジタル版)を含みます。
- 11/12 会場に参加される方は、昼食代(弁当・お茶)を含みます。
- 現場見学会のみのお申込みは、受付けておりません。
- 11/12は、会場参加、オンライン参加のいずれかを選択していただきます。
- オンライン参加者のご視聴は1申込みにつき1名様でお願いいたします。
- 大会終了後、会場参加者・オンライン参加者の皆様には、期間限定でアーカイブ配信をご覧いただけます。
  (許可をいただいた講演者のみ)

備考・お願い
- 発表資料(予稿集)の当日配布はありません。
  ダウンロード用のURL、ID、PWを連絡させていただきます。(10月下旬～予定)
- 会場・オンラインともに録音、録画、写真撮影は、固くお断りをいたします。
- 講演後の質疑応答は、会場参加者のみが対象となります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。
- 会場参加をされる場合は、申し込み後に送信されるQRコードとご自身の名刺をご準備ください。

会　場　タワーホール船堀(東京都江戸川区)





所要時間として表示している時間は、状況によって異なります。目安としてご覧ください。

お問い合わせ

日本IE協会
〒102-8643　千代田区平河町2-13-12　生産性本部ビル
TEL:03-3511-4062　FAX:03-3511-4069
Eメール:jiie@j-ie.com
ホームページ:https://www.j-ie.com/